



おがたきりこ  
尾形希莉子 さん



山梨市地域おこし協力隊  
(山梨市)

今回で13回を迎える「地域で輝く女性れば」と、県内各地で様々な分野において活躍する女性を取り上げてきましたが、今回は「山梨市地域おこし協力隊」の尾形希莉子さんに会ってきました。「山梨市」という素材をどのように編集していくのか、その思いを伺います。

まず、山梨市地域おこし協力隊になったきっかけを教えてください。県外のご出身ということも伺いました。

尾形 私は、横浜市戸塚区の生まれです。もともと地方や農業などに興味を持っていたのですが、大学4年生のときに「一般社団法人山梨市ふるさと振興機構」が大学生を受け入れるプロジェクトを行っていることを知り、面白そうだと思って参加したのがそもそものきっかけです。そのプロジェクトからのご縁で、昨年の11月から山梨市地域おこし協力隊を務めています。

月並みな質問ですが、山梨市地域おこし協力隊の活動について教えてください。

尾形 現在、山梨市の地域おこし協力隊は私一人ですが、活動は主に市内各地域の農家さんを回って農業のお手伝いをしたり、山梨市の魅力、地域資源の情報をSNSをつかって発信したり、そのほか市役所で事務仕事もしています。

また、地域の特産品もまちづくりに欠かせない重要なアイテムだと思っていますので、今後は商品開発なども行っていきます。現在は試作段階ですが、地元の皆さんの「当たり前」を、魅力ある商品として発信していければいいなと思って、いろいろ考えています。例えばモモやブドウなどの果実そのものだけでなく、農家さんが捨てているものの中にも活用できる資源があります。今まで価値のなかったものに価値を見出せれば面白いですし、それがゆくゆくは農家さんの収入の底上げの一助となったり、農家さんへ還元できたりすればいいですね。

こうした新しい目線での取組みが若い方の就農のきっかけづくりにもなるといいですね。

さて、山梨市のホームページにも掲載されていますが、地域おこし協力隊がおこなう「もののぐ活動」についても教えてください。ただけですか。「もののぐ」とは、人々の身近にあった道具のことだそうですね。

尾形 「もののぐ」活動は私の前任者の方々が始めた活動です。山梨市内各地に残る、地域の人々が大切にしてきた、身近にあったモノにフォーカスを当てて聞き取り調査をする、という活動です。牧丘町、三富村、山梨市が合併して現在の山梨市になっていますが、均一化されていくまちの中で忘れられていく、埋もれてしまうモノを、地域おこし協力隊という新しい目線ですくいあげ、地域の歴史の掘り起こしをしています。昔なつかしい道具や大切にしてきたモノをとおして、地域の人々の思いをくみとり、地域の魅力を再発見してもらいたいと思っています。私のような「ソト」から来た人間だからこそ見つけられるもの、発信できる魅力があるだろうと思っています。こちらも引き続き活動を続けていく予定です。



このほか、地域おこし協力隊となって、やってみたいことはありますか？

尾形 山梨市は面白い地域だと思います。まちもあり、山もある。山もすごい山奥まで山梨市なのに、1時間半もあれば東京に出られます。良い意味での「ヨソモノ」目線で山梨市を発信して、都会の人たちを山梨市に呼び込みたいです。今は山梨市ふるさと振興機構と共に「シャワーライミング」という沢登りツアーを計画しています。三富地域にある観光名所・一之釜

を目指して沢を登っていくというアトラクションです。これ以



▲地域の方と西沢溪谷を清掃（右端が尾形さん）

外にも農作業体験など、地方と関わる最初のきっかけとなるコンテンツづくりをして、都市と地方の橋渡しの役割も担えらと思っています。今話題の「関係人口」創出ですね。

かつて私がそうだったように、ちょっとしたきっかけで地方のよさに目覚める人はたくさんいるはず。新型コロナウイルス感染拡大防止の都合で、今こちらに呼び込むのは難しい状況ですが、いずれ収束したらぜひ実現させたいです。

あとは、全国各地へ山梨市の誇れるものを売りに行く活動を考えています。単に八百屋として売るのではなく、生産背景や生産者さんの想いなどをしっかりと説明し、その価値を理解したうえで購入していただくことに意味があると思っています。しかし、今は主な販売先として考えていた東京のマルシェもすべて中止となっているので対面の販売は難しく、その代替わりネットを通じての販売を強化する予定です。

地域おこし協力隊になってまだ日も浅いので、地域のお役に立てるのはまだまだこれから。そこに今回の新型コロナウイルスの流行があって、これからだ！というときに鼻をくじかれてしまった感じがするのですが、準備期間が増えたプラスにとらえて、オンラインコンテンツも充実させていきます。

ここまでは、山梨市の外に向けての情報発信です。今度はナカ、山梨市民の皆さんに、改めて「山梨市っていいよね！」みたいな誇りの醸成のお手伝いをしたいというか、アイデンティティづくりというか、市民の皆さんに向けた情報発信を通じて、地元山梨市のスゴさを再発見してもらいたい。そのための活動をしていきたいです。

### 山梨市のスゴさを皆さんなかなか知らない、と？

尾形 良くも悪くも身近にありすぎて気づかないのだと思います。私にとっては、すぐ近くにモモやブドウの畑があることがすでに魅力でした。横浜にいるときは周囲に畑などはあまりなく、果物も買うものだと思っていましたから（笑）。そういう地元にとって当たり前すぎるものを、地域おこし協力隊だからこその目線、切り口で、掘り起こしていきたいですね。みなさん「このまちはなにもない」ようなことをおっしゃいますが、

飲食店にしても、活用できそうな地域資源として実は結構あるんですよ。

自分一人の力では限られるので、積極的に地域に入り込んで信頼関係を築きつつ、地域の方々の協力を得ながら進めていきたいです。市役所内でも同様で、所属は地域資源開発課ですが、部署の垣根を越えてさまざまな部署の力を借りながら市全体を盛り上げていければと思っています。

地域おこし協力隊としての今後の抱負をお聞かせください。

尾形ライターとして、山梨市を「編集」していきたいです。

編集というと、情報をまとめていく、ということでしょうか。

尾形「地域の編集」に興味を持ったのは、私が尊敬する人の一人である、『ソトコト』という雑誌の編集長・指出一正さんの影響です。簡単に言うと、「山梨市」の魅力をいろいろな角度から見て、どういう切り口で紹介するかを考えます。新聞や雑誌の見出しのように、キャッチコピーのつけ方次第でいかようにも紹介の方法があります。魅力を生かすも殺すも、編集の腕にかかっているとさえいえます。今はその編集作業に向けて、農作業や役所での仕事の中でアンテナを高く広く張ってリサーチしています。どうしたらこのまちを面白く見せられるだろうか、集めた情報をいかに発信していこうかって。

では、今後の活躍に乞うご期待！ですね。

最後に、尾形さんの山梨市おすすめスポットはありますか？  
こんな時期ですので外出もままならないのですが・・・。

尾形 牧丘町城古寺あたりから見る富士山が好きです。あとは定番ですが乙ヶ妻じょうこじのシダレザクラとか。山梨市からは富士山もきれいに見えますし、盆地の風景も素敵です。美味しいお店もたくさんあるんですよ。

これから尾形さんという敏腕ライターによって、山梨市のマストアイテムから最新トレンドまで、どんどん発信されていくわけですね。楽しみにしています。本日はお忙しい中、ありがとうございました。

山梨市ホームページ

<http://www.city.yamanashi.yamanashi.jp/>

(一社) 山梨市ふるさと振興機構

<https://www.facebook.com/yamanashi.yfa>